

蒲生干潟自然再生全体構想の見直しについて

蒲生干潟自然再生協議会運営事務局

蒲生干潟が東日本大震災（以下、震災という。）により、自然環境や社会的環境等が大きく変わったことから、震災前に作られた蒲生干潟自然再生全体構想（以下、現構想という。）を見直し、現状に合った新構想を作成し、自然再生の方向性を決め、早期にできることから取組を進めていく必要がある。作成にあたって、下記のとおり進めることについて協議する。

1 新構想の構成

下記内容を踏まえ、別紙資料2のとおりとする。

- (1) 令和7年3月8日に開催した「蒲生干潟自然再生全体構想見直し意見交換会」において、震災後の状況やモニタリング結果を入れる必要があるとの意見があったので、震災前と震災後の状況について分けて記載する。
- (2) 蒲生干潟の歩みや震災前の状況は、現構想を一部要約して記載し、詳細は現構想を見てもらうようにする。
- (3) 震災後の取組年表を作成し、災害復旧工事など環境の変化がわかるよう整理する。
- (4) 現構想のような詳細な現状のとりまとめは困難かつ時間を要するため、既存の論文や報告書などの文献を中心に内容を取りまとめるとともに、植生・底生生物・鳥類などの個別項目については、専門の委員各位に作成について御協力していただく。

参考文献（事例）

- ・金谷弦・鈴木孝男(2024)宮城県蒲生潟の海岸エコトーンにおける地形、植生、底質および底生動物への東日本大震災の影響と 2023 年までの移り変わり.日本ベントス学会誌 79:26-38
- ・宮城県仙台土木事務所(2022)七北田川環境調査業務委託
- ・蒲生を守る会だより、日本野鳥の会宮城県支部報告、仙台市科学館研究報告、国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査業務（東北地方環境事務所）など

2 課題の設定

下記内容を踏まえ、別紙資料3のとおりとする。

なお、課題の詳細については、今後実施していく現況や取組のとりまとめなどと併せて整理が必要な部分であることから、今回は課題の方向性（表題）の決定までとする。

- (1) 現構想で掲げる目指すべき将来像は、震災後も大きく変わるものではないので、現構想で掲げる課題を生かし、現状に合わせた微修正や近年のトレンドを踏まえて設定する。
- (2) 「水交換」については、令和7年3月8日に開催した「蒲生干潟自然再生全体構想見直し意見交換会」で多くの意見があり、早々に取組を進めていく必要がある内容であることから、前面に出して課題として設定する。
- (3) 蒲生干潟自然再生協議会が令和3年に再開され、当面は干潟の現状把握やモニタリングを行い、その結果を集約して新構想に反映・見直しする方針としていることから、今後の生物多様性の保全や外来種対策などの取組につなげていくため、干潟生態系のモニタリングの継続を課題として設定する。

3 新構想作成にあたっての提案

新構想作成にあたり、現状のとりまとめや課題の詳細、具体的な取組内容などを今後決定していく上で、委員各位の協力が不可欠であることから下記について提案する。

(1) 現状とりまとめの役割分担

現状のとりまとめ（資料2：新構想の2の内容）については1（4）で文献を中心にとりまとめるとしたが、専門的知識を有する内容であるため、学識経験者や環境団体などの各種専門である委員の協力が不可欠である。

そこで下記のとおり役割分担することを提案する。

蒲生干潟の現状 記載予定項目	担当委員
地形・底質	三戸部委員
塩分濃度・干潟間隙水	坂巻委員
昆虫類	郷右近委員
希少植物（ハマゴウなど）	滝口委員
植生	平吹委員
底生生物	鈴木（孝）委員
鳥類	熊谷委員・鈴木（道）委員・竹丸委員
魚類・重要種など その他	宮城県（文献・RDB(2026)などを基に）
統括	環境省、仙台市、宮城県

(2) 課題の詳細や具体的な取組内容の検討

水交換などの課題について、令和7年3月8日に開催した「蒲生干潟自然再生全体構想見直し意見交換会」において様々な意見が出たが、実際にどういう現状で、何が課題で、どういう取組ができるのか机上の議論だけでは見えない部分があると考えため、現地検討会の開催を提案する。

・現地検討会

日時 : 7～9月の夏頃の土曜日 1日程度

検討事項 : 水交換の状況（導流堤の状況（カキ殻、水門開閉）、汽水の流入状況、干潟奥の陸地化の状況、砂丘の状況（砂、植生）等

取組案 : カキ殻除去、導流堤の開閉操作、濬筋を掘る、淡水源の確保等

4 今後の取組スケジュール（案）

新構想作成のためのスケジュール（案）として、下記のとおり提案する。

時期	内容	対象
2025年(R7) 7~9月	現地検討会 (現状の確認、課題の設定、取組の検討)	委員・事務局
7~12月	現状のとりまとめ	役割委員
12月	運営事務局会議（現地検討会及び現状のとりまとめを踏まえた課題の設定、取組内容の叩き台作成）	事務局
2026年(R8) 1~2月	意見交換会（現状、課題、取組に関する）	委員・事務局
3月	運営事務局会議（第21回協議会内容、現状、課題、取組内容案の決定）	事務局
6月	第21回協議会 (現状、課題、取組内容の決定)	委員・事務局
7~12月	新構想案の作成	事務局 ※役割委員
2027年(R9)1~2月	運営事務局会議（第22回協議会内容、新構想案の最終確認）	事務局
3月	新構想案の完成	事務局
6月	第22回協議会（新構想の承認）	委員・事務局